

高川小だより

令和7年(2025年)6月2日

発行者：校長

高川小HPはこちら➡



蒸し蒸しする季節になってきました。毎日動き回る子どもたちは、汗もたくさんかくと思います。しっかりと汗をふいたり、水分補給をしたり、体調を崩さないように学校でも声をかけています。来たる夏に向けて、ご家庭でもお声がけをどうぞよろしくお願いいたします。

土曜参観、ありがとうございました

5月17日(土)に土曜参観、ならびに学級懇談会がありました。大雨の中でしたが、多数ご来校いただき、子どもたちの頑張りをご参観いただき、本当にありがとうございました。

どのクラスでも子どもたちが元気よく発表したり、一生懸命に制作物を作ったりしていました。ご家庭での様子と全く一緒だったということも、全く違うといったこともあると思いますが、子どもたちが頑張ったことを、ぜひたくさんほめてあげてくださいね。



気持ちいい川風を受けてスポーツハイク

5月18日(日)に連合町会主催のスポーツハイクがありました。ベビーカーの小さなお子さんからお年寄りまでが10時に学校を出発して、神崎川の川沿いに約4kmの道のりを歩きました。道々では参加者の交通安全を見守ってくださったり、水分補給のためのお茶を用意してくださったりと、みなさんそれぞれ自分のペースで涼しい川風を受けながら楽しんで歩くことができました。

道中、「この場所は『めいぼのわたし』とって、まだ神崎川に橋がかかっていない昔、神崎川を渡るために渡し舟の船頭さんが目にイボのあったため、そんな名前になったんだよ。」「この道は、昔は見通しがよくて、豊中市のずっと北にある箕面の山が見えたんだよ。」といったお話を地域の方にいただきました。8年前の高川小50周年の時にも「高川物語」として学習しましたが、今の子どもたちは知らないことも多いかもしれません。まだまだ高川の校区にはおもしろい場所やエピソードがたくさんありそうです。もしご家族で昔の高川のことをご存じの方がいらっしゃったら、ぜひ子どもたちに教えてあげてくださいね。



低学年が江坂公園に行ってきました

5月21日(水)に1,2年生が江坂公園まで校外学習に行ってきました。1年生にとっては初めての校外学習です。約2kmの道のりを暑い中でしたが頑張って歩きました。

事前に2年生が1年生となかよく過ごすために、どうすればよいかグループごとに考えて当日を迎えたので、1年生も安心してグループで遊ぶことができました。ありがとう、2年生！



人形劇「いえで で でんしゃ」

5月22日(木)に体育館で芸術鑑賞会がありました。お母さんからの“むじつのつみ”に腹を立てたサクラコが家を飛びたすと、現れたのは「いえで で でんしゃ」。いえで で でんしゃは、どこに向かっているのでしょうか？駅ごとに乗車するキャラクターに子どもたちは大興奮でした。最後は子どもたちを人形たちがお見送りしてくれ、最後まで楽しんだ1時間でした。



「主体的な学び」って、どんな学び？

前号では、「自他を認める豊かな心」についてお伝えしました。今回は、その続きある、「主体的・協働的な学び」のうち、「主体的な学び」についてお伝えしたいと思います。

「主体的」とは、辞書によると、「自分から率先して行動すること」とあります。これまでの学校教育は一人の教師が多数の子どもたちに対して全員に同じ問いや指示をして、それを受けて子どもたちは考え、知識を獲得し、読み・書き・計算などのスキルを学んできたことが多かったように思います。

しかし、これからの時代、これまでのように「指示されたことができる」ことが求められるのではなく、「自分から率先して行動して、新たな価値やまだ存在しないものを生み出す」ことが求められます。そのためには、小さいころから様々なことに興味を持って、自分で考え、何が大切か、何が必要かを導き出して、行動していかないとはいけません。それは、決して全て自分一人だけでは「わかった！」「できた！」とはなりません。友だちや家族、地域の人たちの力を借りて、みんなで協力してこそ「わかった！」「できた！」の声が出るのです。そこで「自他を認める豊かな心」が必要となるのです。

「主体的な学び」を進めるため、学校では子どもたちの「はてな」を大事にしています。「どうして〇〇なのかな？」「これって、別のやり方ですと、どうなるのかな？」「どういう仕組みで動いているのかな？」など、子どもは“はてな”の宝庫です。大人はその“はてな”にすぐに答えるのではなく、「どうしてだろうね？」「じゃあ、調べてみたら？」と自分で調べられるよう勧めてみてくださいね。「じゃあ、いいや」というかもしれませんが、その時は「興味がないのかな？」とそっとしておいてください。また、どこかのタイミングで急に興味を持ったり、調べてみたいと思ったりするかもしれません。

子どもたちの主体的な学びをお家でも応援してあげてくださいね。